

報道関係者様 各位

プレスリリース

パラリンピック競技大会のパートナーシップ開始 25 周年を記念し、弊社CEOがコミットメントを語りました。

2013 年 11 月 15 日(金)

Otto Bock HealthCare GmbH

Quality for life

オットーボック社では、パラリンピックムーブメントの中で重要な役割を果たしているテクニカルサービスを開始して今年で 25 周年を迎えました。今日までの発展を振り返りながら、弊社 CEO が将来に向けたコミットメントを語りました。

オットーボック・ヘルスケア社の社長兼 CEO である Professor Hans Georg Näder が弊社を代表してパラリンピック競技大会のパートナーになることを誓約してから 25 年になります。オットーボック社は、運動機能を制限された人々に対するソリューションプロバイダーのグローバルリーダーとして、1988 年のパラリンピック ソウル大会から、選手が競技で使用する義肢、装具、車いすなどの機器のメンテナンスと修理サービスを提供して参りました。

「1988 年当時、パラリンピックは新聞の文化・健康欄にほんの少し取上げられるだけでした。今日では多くの人々から注目され、全世界のメディアに取上げられるようになりました。」と Professor Hans Georg Näder は語り、さらに、「私たちは初期の段階からパラリンピックに関わってきました。参加選手と国際パラリンピック委員会から多大な信頼をいただき、パートナーとしてパラリンピックの変革の一部に関わったことを非常に誇りに思っています。パラリンピックへの情熱はずっと以前から私たちの会社の DNA の一部になっています。私たちはこれからの 25 年間もパラリンピックムーブメントの発展のために、選手とパートナーの方々と手をたずさえ、今以上に活動してゆくことをコミット致します。」と述べました。

オットーボック社は 2005 年に国際パラリンピック委員会(IPC)のワールドワイドパートナーとなり、このパートナーシップは 2016 年まで延長されています。弊社は、パラリンピックムーブメントに携わりながら、更なる発展を目指して以下の 3 つの構想に注力して活動してゆく所存です。

- テクニカルサービスーパラリンピックの各大会ごとに競技のレベルが上がり、使用する機器やそれを支える技術力への要求も高まってきました。こうした要望に応え、オットーボック社の国際技術チームは、スキルと経験により、選手たちが必要とするまさにその時々世界レベルの技術サービスを提供できることを確約します。
- 教育ードイツ本社の教育機関であるオットーボックアカデミーでは、全世界の義肢装具士の皆様に対しトレーニングを提供しています。オットーボックアカデミーのトレーニングでは、障害を持った人々の日々の生活におけるケアと機器(補装具)のクオリティを高めることで、スポーツに参加しやすい環境を作ることを目的にしています。
- 認知ーオットーボック社は、90 年間のビジネスの歴史と 111 ヶ国に広がるグローバルネットワークにより、さまざまな背景を持つ、あらゆる国籍のあらゆる年齢の人々を啓蒙・刺激し、関心を持っていただくために、インタラクティブな機会を提供して参りました。世界中でパラリンピックスポーツへの関心を高め、障害に対する意識を変えようという弊社の戦略の中心的活動として、「パッション・フォー・パラリンピックス:パラリンピックへの情熱」と名付けた展示会を開催しています。

「オットーボック社は、パラリンピック競技大会に初めて関わった1988年以来、パラリンピックムーブメントの誠実で信頼できるパートナーの一人となっています。オットーボック社のサポートはパラリンピックの発展に多大なる貢献をしてくれました。」とIPCの会長であるフィリップ・クレイヴァン卿は述べ、更には「IPCとオットーボックの関係は、強い意志、平等、勇気、インスピレーションなどという価値観を共有することで成り立っています。IPC同様にオットーボック社もまた、選手たちを中心的な存在として大切にしています。一方世界中の選手たちは、オットーボック社とその経験豊かな技術サービスチームがこの25年間に提供してくれた素晴らしいサービスに対し、大変感謝しています。」と語りました。

オットーボック社は現在、国際パラリンピック委員会、Getty イメージズとのパートナーシップを記念して、パラリンピックの写真展を開催しています。

パラリンピックへの情熱を分かち合うために、パラリンピック委員会とオットーボックファミリーにより、パラリンピックにおける感動の瞬間や選手たちが積み重ねてきた努力、スポーツに対する純粋な感動などを切り取った多数の写真が選び出されました。こうして、パラリンピックの真価、過去の躍動と興奮が鮮やかに蘇る息をのむような写真のコレクションができました。

「この写真展をオットーボック社と共催できることは大変喜ばしいことです。またパラリンピック競技大会の公式撮影パートナーとして、勝利の瞬間、選手たちの称賛に値する努力や高揚を写真にとらえることができるのは非常に名誉あることです。」とGetty イメージズのスポーツイメージ/サービス部門の副社長Ken Mainardis氏は語っています。

本写真展は、2013年11月16日から2014年1月31日まで、ベルリンにあるオットーボックサイエンスセンターにおいて入場無料で開催されています。(開館:木曜日～日曜日、10:00-18:00)



写真 1:

オットーボック社がパラリンピックパートナーとなってから25周年を迎えたことを記念して、ベルリンのサイエンスセンターのビルがパラリンピック選手で覆われました。

写真提供:

Clemens Bilan/Getty Images for Ottobock



写真 2:

2012年ロンドン大会パラリンピック村に開設されたオットーボック修理ワークショップ

写真提供:

Giles Duley/Ottobock

報道関係者の皆様へ

- オットーボックは 1988 年以來、7 回のパラリンピック夏季競技大会と 5 回のパラリンピック冬季競技大会において修理サービスを提供してきました。2014 年 3 月 7 日～16 日にソチで開催されるパラリンピック冬季大会においても、義肢、装具、車いすの修理サービスの公式プロバイダーとして再びサービスを提供する準備をしています。

オットーボック社のパラリンピックの歴史と役割に関する詳細は:

オットーボック・パラリンピックサイト www.passion.ottobock.com までアクセスいただくか、
オットーボック・フェイスブック <https://www.facebook.com/OttobockPassionforParalypmics>
または、オットーボック・ツイッター <https://twitter.com/OttobockPassion> へのフォローをお願い致します。

- ゲッティ イメージズは過去 8 年間、国際パラリンピック委員会の公式撮影パートナーを務めており、IPC がパラリンピックスポーツの価値と功績を多くの人々に知らせるために、素晴らしいスポーツの瞬間を世界中で撮影することでサポートしています。ゲッティ イメージズは 2014 年のソチ大会においても IPC の公式撮影パートナーになります。

詳細はゲッティ イメージのオフィシャルサイト

<http://www.gettyimages.co.uk/editorialimages/sport> までアクセスください。

- 写真展に展示されている写真は、ドイツ、中国、カナダ、アメリカ、ブラジル、英国、ルワンダ、オランダのパラリンピックムーブメントの代表、スポーツリーダー、パラリンピアン、写真家によって選ばれました。寄稿者、展示写真、引用テキスト、その他に関する詳細につきましては、下記までご連絡をお願い致します。

International Media

Anna Parisi

Director, Paralympic Marketing and

Public Relations

Ottobock

T: +44 (0)7584 162563

E: anna.parsi@ottobock.com

German Media

Ruediger Herzog

Head of Corporate Publishing

Ottobock

T: +49 552 7848 1859

E: ruediger.herzog@ottobock.com

本件に関する日本の連絡先:

オットーボック・ジャパン株式会社 担当: 赤松、樋詰、佐竹

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F

TEL:03-3798-2113 Fax: 03-3798-2112 E-Mail: ottobock@ottobock.co.jp

* オットーボック社のパラリンピックサポートに関する日本語サイトは以下にアクセスください。

「パラリンピックをサポートするオットーボック社」: www.paralypmics.ottobock.jp